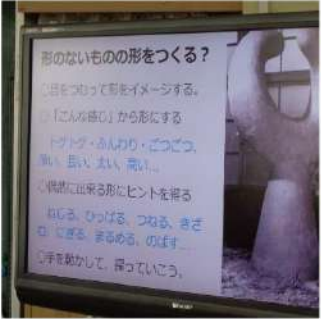


# 春日中学校の『今』

## ～PTA組織改編・働き方改革～



2023.1.20 11:00～  
 (於:なら100年会館)  
 奈良市PTA連合会  
 みんなで学べる研修会



奈良市立春日中学校  
 校長 坂本静泰

# 春日中学校の『今』① ～PTA組織改編～

## 【保護者とともに子どもたちのために PTA組織改編】

2019年5月運営委員会 校長：「学校の事をもっと多くの保護者に知ってもらいたい」

会長：「一人でも多くの保護者と情報を共有し、

子どもたちのために学校と協働したい」

- 学級委員や委員決め：保護者は免除の儀式、教員が学級委員決めの代行
- 学級委員、広報委員などの専門部を廃止、必要に応じてエントリー制で行事等に対応
  - ・毎月開催の運営委員会で「学校の疑問」を双方向に話し、解消へ➡その内容を「運営委員会だより」に掲載し、さくら連絡網で配信、PTA独自のHPにアップ
  - ・毎月の運営委員会、学期に1回、オープンのフリートークの機会を確保➡保護者が学校運営に参画
  - ・体育大会の保護者向けの観覧の注意事項を学校と協働して作成
- 運営委員会で生徒会役員との懇談を実施➡校内の清掃活動で協働



【PTAと生徒会のコラボ】  
2021.7 校内スマホサミット  
2022.11 運営委員会



PTA主催  
情報モラル・デジタルシチズン  
シップ教室(オンライン)  
北川弁護士@横浜

授業参観の前の時間に設定  
し、保護者も視聴

Youtubeで限定配信  
さくら連絡網で全保護者  
が視聴できるようにURL  
を配信

# 春日中学校PTA組織改編について（案）

2019年12月提案→2020年5月説明

PTAの目的：子どもが、将来の夢や希望をもち、そこに向かって自ら切り拓くことができるように保護者、教員が共に学び、協働して子どもの支援にあたる。

## 【こんな声が！】

- ・PTAの活動に参加したい、Aさん、Bさんとならやりたいし、参加できるのに委員の枠があるから…
- ・委員決めが強制的で、活動が負担になっている。やりたい活動をできるときにやれば…
- ・学校のことをもっと知りたいのに…
- ・子どものすこやかな成長のために学校やPTAの力になりたいけど、組織的な活動に抵抗を感じる…



## 【そこで！】

現行の学年委員と専門委員（学年・広報・生活指導）を廃止します。そして、役員が連絡調整役として誰もが参加でき、活動できるような組織に改編します。〈ボランティア大歓迎！〉



## 【新たな組織として】

- ①学年PTA：学年PTAを開く場合には、学年担当役員と教員が一緒に行います。
  - ②学び：子育てや子どもを取り巻く喫緊の課題を学んで、親として成長します。
  - ③広報：PTA活動の中身や学校や生徒の様子、時には、生徒と一緒に取材や記事を作ります。
  - ④見守り：関係機関や学校と連携して子どもを守るための活動をします。
- ☆学年担当者：運営委員会に参加し、各学年の情報共有やPTAの決め事に対して審議し、議決します。



## 【こんな方法でスタートします！】

4月に上記②～④で活動していただくメンバーを募集します。同時に「こんなことやりたい」「私、こんなことできるんです」といった新たな活動も募集します。後日、エントリーシートを配付しますので、遠慮されることなく「春日中の子どもたちのために」ふるってご参加ください。



## ○改編の動き（時系列）

【2019年（令和元年）】

- ・11月 「時代やライフスタイルに合わせた組織に」
- ・12月 活動の軽減の提案

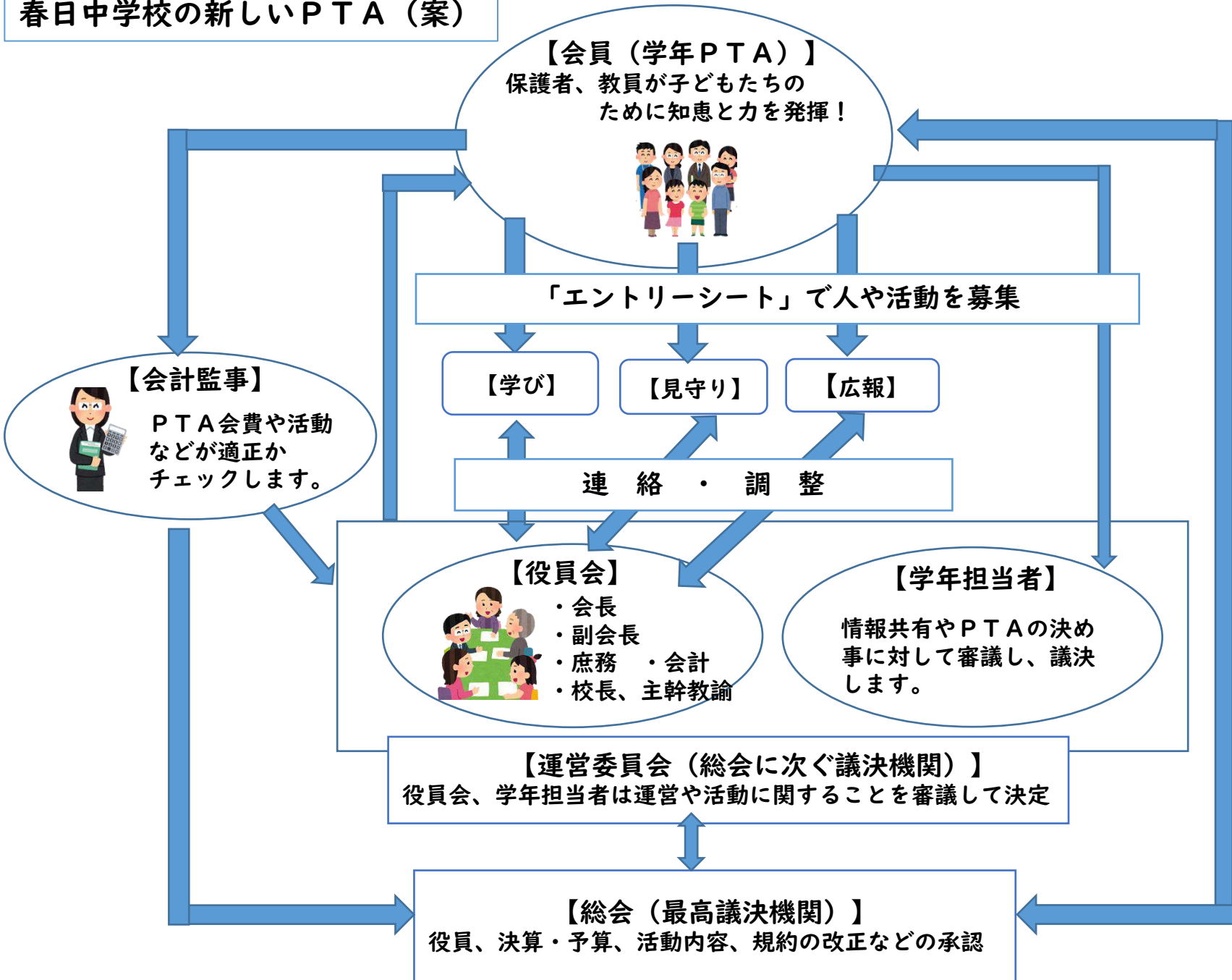
【2020年（令和2年）】

- ・2月 組織、活動の具体を提案
- ・3月～ コロナにより活動休止
- ・7月 アンケート調査
- ・10月 先行事例を求めて神戸市立桃山台中学校を訪問
- ・11月 運営委員会でフリートークのデモンストレーション
- ・12月 役員公募時にQ&Aを配付

【2021年（令和3年）】

- ・1月 「決まったことをするだけの強制的なPTAから、子どもたちのために保護者の意見が反映されるPTAへ」  
➢フリートークの話題を学校運営に反映
- ・2月 SNSの活用を試行

# 春日中学校の新しいPTA（案）



## ○アンケートの声

### 【学級代表】

- ・学級懇談会や親睦会の必要性をあまり感じないので学級代表そのものが要らない気がします。
- ・ネットを利用し意見を集めることで、立候補がいなくても運営側には伝わる。

### 【広報】

- ・ボランティアで広報の仕事が分担できればと思う。家でできることがあれば良い。
- ・広報紙の発行はもうしなくてもよいと思う、だから広報部はいらない。

### 【生活委員】

- ・委員になっても参加しない人がいるのは不公平
- ・無理しなくても良いと言われてもやる人の目があるので無理してしまう。

※現状維持は大事、必要という声もあった。

※感情と機能を切り離して考える。  
なくなって不安、心配の声には代替や補完する手立てが必要

# 春日中学校の『今』② ～学校のデジタル化～

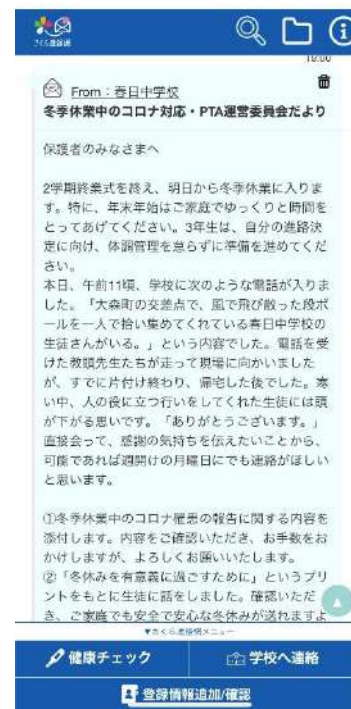
## 【学校のデジタル化】

・さくら連絡網の活用：全ての保護者に届く

- ①欠席連絡、健康チェック、コロナ罹患情報（市への報告様式に従った内容を発信してもらう⇒学校からの電話での確認はほとんどない）
- ②事務的な連絡（メール本文や添付資料で配信⇒学校だよりの発行を止めています）
- ③部活動関係の連絡
- ④個別の連絡（欠席者への特別な連絡、緊急に連絡したがつながらないので、すぐに折り返しがほしい時）
- ⑤PTAからの情報発信とアンケート調査（「PTA運営委員会だより」は「学校だより」より強力）
- ⑥学校のHP更新情報
- ⑦奈良市からの情報提供

・GIGA端末、校務支援システムの積極的な活用

- ①朝の打ち合わせは校務支援システムで情報共有
- ②会議や研修資料のペーパーレス化
  - 紙の使用量：昨年度は例年の半分、今年度はさらに減
- ③時間割は次週分を金曜日にGoogleクラスルームにアップ
  - 欠席者への連絡が減る



# 春日中学校の『今』⑤ ～働き方改革～

〈働き方改革〉『先生方の交代や後進がいません。先生たちの責任だけではありませんが、やりましょう。』

## 一部活動ー

- ①部活動指導員の任用
- ②早朝練習の撤廃：生徒の健康（睡眠、学習の保障）、教員の勤務時間の遵守
- ③日課を見直し、年間を通して17時下校を実現（令和4年11月スタート プレ10月24日～）

## ー授業時間の確保ー

- ①単元テストの実施：中間考査、期末考査共に1日で実施することにより、授業時間を確保
- ②規定の時間数の確保が可能：  
週30時間➡週29時間 毎週水曜日を5限とし『ノー残業デー』  
年間1,2年生=1035時間 3年生=1000時間を確保し、令和4年度3学期は週29時間  
令和5年度から完全実施

## ー修学旅行ー

- ①新型コロナウイルス感染症による近距離でバス利用、一泊二日がきっかけ
- ②今年度の修学旅行：中学生に相応した平和・防災学習、国際理解、芸術鑑賞、アクティビティを実施
  - 計画、立案、実施に要する時間の削減
  - 旅行費用の軽減

働き方改革は、業務軽減・時短という一点突破では進まない。改革、改編が上手くいかなくても元に戻さず、別の方法を考えて進むという覚悟は必要

# 春日中学校の『これから』 ～PTA組織改編・学校のデジタル化・学力の向上・働き方改革～

①PTA組織: 自立した保護者組織として『組織の維持と機能の向上』

学校運営の参画者であり、辛口の友人として『学校の応援団』となれる。

【保護者の意識の向上】

毎回の運営員会で学校への質問がある。

11月の運営委員会に寄せられた質問「今の50分授業を45分授業にして、通年17時下校となったようであるが、学習の時間が削られるのは、心配で不安である。」

➤間違った伝わり方であるが、学習に関する不安が寄せられるようになった。

➡PTAフリートーク、運営委員会だよりの成果、(さくら連絡網での配信)

②教員のつぶやき

「単元テストを行った、自動採点システムを使ったことは、もう元に戻れない。」

「この単元のここをやるときに、こちらのこの部分とコラボしに入っていこうか。」

「合理的に業務を進めてはるので働きやすいです。」

自立した教員として学び続け、  
元に戻さないという覚悟

それでよいのかという問いと検証、そして何らかを投げ込み、アップデートすることは必要

## 【まとめ】

PTA、特に本部役員さんや、運営委員さんは、

①学校が変わる・学校を変えるための協同体

②時には表に出る下支え

③当事者・主体者としての意識形成

「子どものために」を学校と共に考える『辛口の友人』

ご清聴ありがとうございました。